

教職実践演習 第3回

「教育学からみた教師の役割」

教師の役割と聞くとみなさんは何を思い
浮かべますか？

ひと(相手)に関わっていく役割 (ひと(相手)と話をする役割)

- ひとを察する
 - ひとの気持ちを思う
 - ひとに関わる
 - ひとに伝える
 - ひとにどう伝わったか考える
 - ひとの話を引き出す
 - ひとの話を聴く
-
- ひととのより良い関係を築いていく(現在完了進行形として)

コミュニケーションは**目的**？
(方法、手段ではなく？)

- 子ども
- 保護者
- 地域の人
- 同僚、その他の人
- 関係機関の人

教師の仕事の特徴

- 無境界性
- 複線性
- 不確実性

情動の実践

- 認知と感情、行動が一体化している。



教えるプロとは？

専門的な力とは何か？

教育的瞬間と 暗黙知

行為の中の省察

- 行為に埋め込まれたかたちで働く思考。
- 複雑な状況に対して省察しながら柔軟に対応するような専門家像。(反省的実践家)

振り返りの省察

- 教師自らの体験を解釈することによって新鮮でかつ深い洞察を得るような省察

見通しの省察

- その後の実践の可能性について考えを深めていく省察



教育的鑑識

子どもの学びや育
ちに関する教育的
鑑識の専門家



教員の同僚性

- 学校においてともに仕事にあたる中、日常的に助け合いアドバイスし合うなどの過程でコミュニケーションを深める関係性。
- 互いに助け合ったり、励ましあったりする関係性。
- 互いに指導方法について教えあったり、担任する子どもについての会話を交わすことで理解しあったりすること。

ひとを尊重する

- 子どもを含めて「ひと」を尊重できるかということが、同僚性の重要な点。

チーム学校 における 同僚性

専門職の学びあうコ
ミュニティの形成

開く、拓く、啓く！